

農業委員会の女性登用推進に向けた取組(石川県能登町農業委員会)

現行体制 (令和5年7月改選時)

- ・ 農業委員：12名 うち女性委員数4名 (33.3%)
- ・ 農地利用最適化推進委員：18名 うち女性委員数2名 (11.1%)

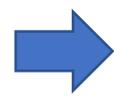
女性登用推進における課題

- ・ 女性の農業者が少ないため、委員候補者も少ない。
- ・ 特に若い女性には、農業委員の活動が認識されていない。
- ・ 昔のイメージ(選挙制・高齢男性が多いなど)があり、男性中心の組織に入るという抵抗感があった。



女性登用推進に向けた取組

- ・ 町内女性農業者が生産活動を行う上で、農業委員会に相談しやすい環境づくりのため、女性登用を推進。
- ・ 女性認定農業者の圃場へ何度も出向き、農業委員会の意義や役割を説明。
- ・ 町内女性農業者複数人に声をかけていることも周知。



取組の成果・登用されたことによる効果

- ・ 改選(令和5年7月)により、4名の女性農業委員を登用できた(改選前1名)。
- ・ 女性農業委員が増加したことにより、
①従来に比べ、総会などの活発化
②女性委員が中心となり、地元野菜を使った料理のPRなど新たな取組への検討開始などの効果が生まれた。



今後の展望
(女性登用割合を維持・向上させるための取組)

- ・ 子育て中の女性農業者も参画しやすいよう、全農業委員にタブレットを貸与して、総会のオンライン参加の体制を整えているなど、継続的に体制整備を図っていく。
- ・ 委員同士の連絡や意見交換を容易にするため、LINEを活用した女性委員のネットワークを作っており、意思決定の迅速化や新規事業創出につなげる。
- ・ 農地利用状況調査や最適化活動にかかる現地での確認作業等の負担を軽減するために、法務局の職権登記制度を活用した非農地判断の実施、衛星画像等を活用した作付状況の確認などの取組を推進する。

